

平成18年度当初予算 重点プログラム別概要

絆2：歴史的・文化的遺産等を活かした三重の魅力づくりプログラム

(主担当部局：生活部)

- (1) 歴史的・文化的遺産を活かした風情あるまちづくり推進事業
- (2) 歴史的・文化的遺産を活かした県事業等の推進環境づくり事業
- (3) 歴史資料の保存活用環境づくり事業

<プログラムの事業費>

(単位：千円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	3か年計
当初計画	26,898	29,000	30,000	86,000程度
見直し後	16,485	15,269	23,605	55,359

注：「見直し後」の16年度は決算額、17年度は予算現額、18年度は当初予算要求額

16年度「当初計画」、「見直し後」には、17年度から対象外とした「文化戦略推進事業」分が含まれている。

<事業目標>

目標項目		平成16年度	平成17年度	平成18年度
(1) 歴史的・文化的遺産保全活用アドバイザー養成数(累計)	目標値		140人	280人
	実績値		164人	
(2) 歴史的・文化的遺産の保全・活用講座受講者数(累計)	目標値		100人	200人
	実績値		90人	
(3) 県の資料の閲覧可能資料率	目標値	30%	50%	60%
	実績値	30%	50%	

注：17年度実績値は11月末現在の見込み値

<進捗状況(現状と課題)>

- ・地域の歴史的・文化的資源を地域住民が積極的に保存・活用することで、三重の魅力の向上につながる環境をつくるため、地域や行政における人材の育成及び歴史的・文化的に価値ある資源の情報データベースの作成に取り組んでいます。
- ・また、明治期以降の県の公文書や県史編さん事業に伴って収集した歴史的資料について、県民が気軽に活用できるよう環境整備を進め、平成16年度末現在で閲覧可能な資料整備率は30%となるなど、順調に歴史的資料の整備が図られています。
- ・今後は、こうした三重の歴史的・文化的資源を観光振興や地域づくりにおいても活用していけるよう、取り組んでいく必要があります。

<平成18年度の取組方向>

- ・引き続き、人材育成や情報データベースの作成、歴史的資料の資料整備を推進するとともに、地域の歴史的・文化的資源の観光・交流面における活用に向け、その効果的な情報発信を図るなど、さらなる三重の魅力の向上に取り組んでいきます。

<主な予算要求事業>

歴史的・文化的遺産を活かした風情あるまちづくり推進事業

【18年度事業費 16,692千円】

県内の歴史的・文化的資源の保全・活用について専門的見地からアドバイスできる人材を育成するとともに、価値ある遺産の情報データベースを作成するなど、歴史的・文化的資源を活かした風情あるまちづくりに向けた環境整備に取り組みます。

また、多様な価値観のニーズに応えることができるように、高等教育機関や観光関係者と連携し、多様な情報を俯瞰できるデータベースの構築を行い、古地図や歴史的な資料と連動させホームページで公開し、三重の魅力あるさまざまな文化資源の発信を行います。

歴史資料の保存活用環境づくり事業【18年度事業費 6,172千円】

県史編さん事業に伴って収集した資料や歴史的・文化的な公文書について、県民が気軽に活用できるよう資料整備を引き続き推進します。

また、本県の歴史・文化の魅力等を広くPRするために、県史にまつわるさまざまな話題を分かりやすく冊子としてまとめ、歴史に関する各種研修会やまちづくり活動家の方々などの参考図書として活用を図るとともに、県内の個人の方が所蔵されている歴史的・文化的資源の現状の確認を行い、歴史資料としての活用などのためにデータベース化を図ります。